

リハビリテーション学科教育課程表

カリキュラムポリシーに基づき教育課程を編成しています。

リハビリテーション学科の教育課程は、教養基礎科目、専門基礎科目、専門科目の3分野から構成され、各授業科目は必修科目、選択科目に区分されます。教養基礎科目、専門基礎科目は理学療法学専攻、作業療法学専攻共通の科目を修得します。専門科目は専攻別に定められています。

3年以上の学業を修め、必修科目、選択科目を合わせて98単位以上を修得することが卒業の要件となっています。

■教養基礎科目(理学療法学専攻・作業療法学専攻共通)

科目区分	授業科目	配当年次	単位数		授業形態			時間	
			必修	選択	講義	演習	実習	単位時間	総時間
人間社会の理解	心の理解	1	2		○			15	30
	現代社会の理解	1		1	○			15	15
	情報処理	1		1	○			15	15
コミュニケーション	外国語1(英会話)	1	1		○			15	15
	外国語2(韓国語会話)	1		1	○			15	15
	外国語3(中国語会話)	1		1	○			15	15
	英文講読	1		1	○			15	15
	現代語コミュニケーション	1		1	○			15	15
	人間関係論	1		1	○			15	15
心と体の健康	レクリエーション	1		1			○	30	30
	健康運動とスポーツ	1		1			○	30	30
	生物と環境	1		1	○			15	15
	生命の科学	1	2		○			15	30
	エネルギーのしくみ	1	2		○			15	30
複合教養	教養演習	1・3	2			○		30	60
	教養基礎科目 計		9	10					
	教養基礎科目 卒業要件		9	5					

【履修方法・卒業要件】

分野別に定められた単位(下記参照)を修得し必修科目9単位と選択科目から5単位以上を修得する

<人間社会の理解>必修科目2単位を含めて合計3単位以上の修得

<コミュニケーション>外国語1~3のうちから必修単位1単位含む1単位以上、その他の科目から1単位以上を含む
合計3単位以上の修得

<心と体の健康>必修科目4単位を含めて合計5単位以上の修得

■専門基礎科目(理学療法学専攻・作業療法学専攻共通)

科目区分	授業科目	配当年次	単位数		授業形態			時間	
			必修	選択	講義	演習	実習	単位時間	総時間
人体の仕組み	解剖学	1	3		○			30	90
	解剖学実習	1・2	1				○	30	30
	人体触察法実習(PT)	1	1				○	45	45
	人体触察法実習(OT)							30	30
	生理学	1	2		○			30	60
	生理学実習	1	1				○	45	45
	運動学総論	1	1		○			15	15
	運動学Ⅰ(頭頸部・上肢)	1	1		○			30	30
	運動学Ⅱ(体幹・下肢)	1	1		○			30	30
	運動学実習	1	1				○	30	30
	人間発達学	1	1		○			30	30
	人体の仕組み 計			13					
疾病と障害の構造と管理	一般臨床医学	1	1		○			15	15
	公衆衛生学	1	1		○			30	30
	臨床心理学	2	2		○			15	30
	内科学	2	1		○			30	30
	整形外科学	2	2		○			30	60
	神経学	2	2		○			30	60
	精神医学	2	1		○			30	30
	小児科学	2	1		○			30	30
	医療安全学・救急医学	1	1		○			15	15
	疾病と障害の構造と管理 計			12					
リハビリテーションの基本的理念	リハビリテーション概論	1	1		○			30	30
	リハビリテーション倫理	1・3	2		○			15	30
	社会福祉学	1	1		○			30	30
	障害支援とアシスタンスドッグ	1		1	○			15	15
	障がい者スポーツ演習	2		1			○	30	30
	リハビリテーションの基本的理念 計			4	2				
専門基礎科目 計			29	2					
専門基礎科目 卒業要件			29						

【履修方法・卒業要件】 必修科目29単位を修得する

<障害支援とアシスタンスドッグ>

この科目は日本聴導犬協会の聴導犬・介助犬訓練士認定単位の一部として認定されています

<障がい者スポーツ演習>

日本障がい者スポーツ協会の初級障がい者スポーツ指導員資格を取得するにはこの科目を修得する必要があります

■理学療法学専攻専門科目

科目区分	授業科目	配当年次	単位数		授業形態			時間	
			必修	選択	講義	演習	実習	単位時間	総時間
基礎理学療法学	理学療法概論	1	2		○			15	30
	理学療法研究法	2	2		○			15	30
	臨床運動学	2	1		○			15	15
	運動療法総論	1	1		○			15	15
	基礎理学療法学 計			6					
理学療法評価学	検査測定法	1	1		○			30	30
	検査測定法実習	1	1				○	30	30
	理学療法評価法	2	1		○			15	15
	理学療法評価法実習	2	2				○	30	60
	理学療法評価学 計			5					
理学療法治療学	中枢神経系障害理学療法治療学	2	1		○			30	30
	中枢神経系障害理学療法治療学実習	2	2				○	30	60
	整形外科系障害理学療法治療学	2	1		○			30	30
	整形外科系障害理学療法治療学実習	2	2				○	30	60
	内部疾患系障害理学療法治療学	2	1		○			15	15
	内部疾患系障害理学療法治療学実習	2	1				○	30	30
	小児疾患系障害理学療法治療学	2	1		○			15	15
	小児疾患系障害理学療法治療学実習	2	1				○	30	30
	老年期障害理学療法学	2	1		○			15	15
	日常生活活動学	2	1		○			15	15
	日常生活活動学実習	2	1				○	30	30
	義肢装具学	2	1		○			15	15
	義肢装具学実習	2	1				○	30	30
	物理療法学	2	2		○			15	30
	物理療法学実習	2	1				○	30	30
	理学療法特論Ⅰ（神経生理学のアプローチ）	3		1			○	15	15
	理学療法特論Ⅱ（関節運動学のアプローチ）	3		1			○	15	15
	理学療法特論Ⅲ（筋生理学のアプローチ）	3		1			○	15	15
	理学療法特論Ⅳ（スポーツ障害理学療法）	3		1			○	15	15
	理学療法特論Ⅴ（吸引・喀痰法）	3		1			○	15	15
理学療法治療学 計			18	5					
地域理学療法学	生活環境論	2	1		○			15	15
	地域理学療法学	2	2		○			15	30
	地域理学療法学実習	1~2	1				○	45	45
	地域理学療法学 計			4					
総合理学療法学	臨床実習Ⅰ（基礎）	1	1				○	45	45
	臨床実習Ⅱ（評価）	3	5				○	45	225
	臨床実習Ⅲ（総合1）	3	6				○	45	270
	臨床実習Ⅳ（総合2）	3	6				○	45	270
	卒業研究	2~3	1				○	15	15
	総合演習	1~3	1				○	30	30
	総合理学療法学 計			20					
専門科目 卒業要件			53	2					

【履修方法・卒業要件】 必修科目53単位と選択科目から2単位以上修得する
 <理学療法特論>Ⅰ～Ⅴのうち2単位以上を修得する